

病理診断科

■初期研修

病理志望者を対象とした研修とする。2年次に関しては3ヶ月以上、1年次については別途相談に乗る。

■内容

生検・手術標本における病理組織診断に必要な工程（固定、切り出し、写真撮影、鏡検、診断書作成）を通じて、診断病理学を学ぶ。病理医志望の場合は病理解剖も必修とする。

■研修目標

臓器の切り出し方法と病理診断法に加え、診断に必要な情報収集、検査適正、検体の取り扱い、治療との関連、的確な依頼内容の記載法など、実践的な知識と技能を習得する。

■具体例

病理専門医になることを見据え、複数の臓器分野をローテートすることが原則である。実際には個人の希望、到達度に合わせマンツーマンで指導する。

当科の詳細については、HP <https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~pathology/index.html> をご覧ください。